

国際ボランティア学会

ニュースレター No.3

2000年7月31日

国際ボランティア学会事務局

〒565-0871 吹田市山田丘1-2

大阪大学人間科学部ボランティア人間科学講座内

Tel & Fax : 06-6879-8064

設立2年目を迎えて

理事 坂口順治（平安女学院大学）

情報技術（IT）革命によってメディアが変化した。ドプレも指摘したように、それによって、人間社会も、知のパライダムも変革しつつある。

ボランティア学の形成初期に議論された、実践と理論の連携、融合、統合化は、今や陳腐化しつつある。理論家と実践者の協同的探求は、もはや時代の予見性を見いだす発想ではなくなった。

「国際ボランティア年」を迎える今、我が学会に求められているのは、時代と社会の変化を導いていく知のリーダーシップである。実践において理論があり、理論の構築が実践であるというダイナミックな知を創ることだ。

地球市民の「善」を求める運動、活性化したコミュニティ活動の現代、期待されているのは、知のリーダーシップの創造である。

1. 第二回国際ボランティア学会大会のお知らせ

開催要領について

【日時】平成12年10月28日（土）および29日（日）

【会場】兵庫県立姫路工業大学環境人間学部

【大会スケジュール】

・特別講演 「21世紀に向けて～国際的な活動とボランティア」（仮）

隅谷三喜男（国際ボランティア学会会長・日本学士院）

・シンポジウム

「阪神・淡路大震災以後、NGOネットワークによる海外災害支援と市民活動」（仮）

コーディネーター：芹田健太郎（神戸大学大学院国際協力研究科教授）

シンポジスト：村井雅清（阪神大震災被災地NGO協働センター代表）

山口徹（神戸YMCA総主事）

宮内明彌（あきや）（生活協同組合コープこうべ常務理事）

・課題研究 「介護福祉とボランティア」（斉藤弥生大阪大学助教授）

「教育改革とボランティア」（角田禮三大阪工業大学教授）

「大学におけるボランティア教育と研究」

（阿久澤麻理子姫路工業大学講師）

・自由研究発表

・隅谷三喜男賞授賞式

- ・総会
- ・懇親会

【タイムテーブル】

10月28日(土)		10月29日(日)	
9:00～	受付開始	9:00～	受付開始
9:25～12:00	自由研究発表	9:25～12:15	課題研究
13:30～13:45	隅谷三喜男賞授賞式	12:30～13:00	総会
13:45～15:15	特別講演		
15:30～17:30	シンポジウム		
18:00～19:30	懇親会		

【参加費】

大会参加費(「発表要旨集録」代を含む)：正会員：3,000円 / 学生会員：1,500円
 法人会員：6,000円 / 臨時会員：4,000円

懇親会費：正会員・学生会員とも5,000円

【参加申込手続き】

別紙の「参加・発表申込書」に必要な事項を記入の上(不参加の場合も)、郵送またはファックスにて事務局までご返送下さい。

なお、自由研究発表の申し込みの締切は、平成12年8月31日(木) <必着>です。

自由研究発表について

【申込要領】

「参加・発表申込書」に必要な事項を記入の上、平成12年8月31日(木) <必着>までに、郵送またはファックスにて申し込み下さい。

【発表時間】

個人発表：発表時間20分、質疑5分

共同発表：発表時間40分、質疑10分

各セクションに全体討論の時間を30分程度設定します。

【発表要旨集録】

発表要旨は「発表要旨の執筆要領」を参照の上、平成12年9月25日(月) <必着>にて学会事務局に郵送して下さい。「発表要旨集録」はダイレクト印刷にて作成いたしますので、必ず所定の様式で作成して下さい。

【発表にあたっての留意事項】

- 1) 一度申込まれた発表題目の変更はできません。
- 2) 発表部会につきましては、下記のような部会を検討しておりますので、第1希望と第2希望を記入して下さい。最終的な調整は事務局にお任せいただきます。

理論・思想・歴史	生涯教育	海外におけるボランティア活動
ボランティア政策・ボランティア行政	青少年活動	企業とボランティア
福祉・介護	NGO・NPO	まちづくり
学校教育	国際協力	その他
	災害救援	

- 3) 共同発表の場合は、共同発表者の氏名と所属を記入し、当日の発表者に印をつけて下さい。なお、共同発表者全員が学会員であることが求められておりますので、

会員以外の方がおられる場合には、学会事務局宛てに早急に入会の手続きをお願いいたします。

懇親会について

10月28日(土)18時より、会場の姫路工業大学環境人間学部キャンパス内学生会館にて開催いたします。

大会会場への交通

JR・山陽電鉄 姫路駅より

神姫バス(西高行き、田寺北行き)乗車

姫路市営バス(書写ロープウェイ行き、大池台行き)乗車

姫路工大環境人間学部前下車すぐ<乗車時間約10分>



宿泊等

学会としてお世話できませんので各自お申し込みください。

大会に関する問い合わせ先

国際ボランティア学会事務局

〒565-0871 吹田市山田丘1-2

大阪大学人間科学部

ボランティア人間科学コース(関)

TEL&FAX 06-6879-8064

2. 『ボランティア学研究』のお知らせ

大変遅くなっておりますが、『ボランティア学研究』(創刊号)はただいま編集・印刷の最終段階に入っております。今しばらくお待ち下さい。

また、第2号の原稿は締め切りましたが、フィールドレポートにつきましてはまだ受付をいたしております。詳しいことは、事務局までお問い合わせ下さい。

3. 国際ボランティア学会会員名簿について

このたび、事務局では会員の交流を図るため、会員名簿を作成いたしました。作成にあたり会員みなさんに掲載データのチェックをお願いいたしましたが、こちらの不手際などによりデータに誤りがあるかもしれません。お手数をおかけいたしますが、その場合は事務局までご一報下さい。

また、あくまで会員間の交流を目的として名簿を発行しておりますので、それ以外の用途などに使われることのないようよろしくお願いいたします。なお、会員の個別の情報などについて事務局ではお答えできません。

4. 年会費お支払いのお願い

2000年度の国際ボランティア学会学会費を同封の振り込み用紙にてお支払いをお願いいたします。

なお、年会費は以下のようになっております。お間違えないようお願いいたします。

正会員 5,000 円

学生会員 2,000 円

法人会員 10,000 円

5. 新刊のお知らせ

国際ボランティア学会会長隅谷三喜男氏の著作『激動の時代を生きて』が岩波書店より発刊されました。

(岩波書店ホームページより抜粋)

『激動の時代を生きて ー社会科学者の回想 ー』

隅谷 三喜男

体裁 = 四六判・上製・カバー・258 頁

本体 2,400 円

2000 年 4 月 24 日 発行

ISBN4-00-022710-6 C0095

< 内容 >

関東大震災，「満洲」製鉄所での敗戦体験，東大紛争，国鉄の民営化，成田空港問題の調停 - 大正に生まれ，長じて戦後日本の経済学をリードしてきた著者は，はからずも歴史の節目節目に立ち会ってきた． 癌 との闘いを経た今，その生涯を日本の激動の歴史とも重ねて綴る．

この出版を記念して、下記の要領にて出版記念パーティーの予定があります。詳しくは、東京 YMCA (TEL03-3293-1921 担当：遠矢) までお問い合わせください。

日時：9 月 22 日 (金) 午後 6 時 30 分ごろより

場所：東京 YMCA

会費：1 万円程度

6. 事務局からのお知らせ

住所・所属などが変更されましたら、速やかに事務局までご一報ください。